

# 會務報告

第26卷第3號 昭和15年3月

## 通常總會記事

昭和15年2月15日午後5時より東京市麹町區丸ノ内3丁目4番地帝國鐵道協會に於て通常總會を開催せり。

出席者：787名（委任狀共）

會長八田嘉明君議長席に着き開會を宣し下記議事に就き出席會員の承認を得たり。

1. 昭和14年度事業報告（本號會告参照）
2. 昭和14年度決算報告（本號會告参照）
3. 役員選舉の結果報告

投票人員 825名

會長

當選 782票 中村謙一君

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 次點 5票 谷口三郎君 | 2票 新井榮吉君  |
| 2票 草間偉君     | 2票 丹羽鈿彦君  |
| 2票 前川貫一君    | 2票 宮本武之輔君 |
| 2票 物部長穂君    | 2票 米元晋一君  |
- 以下略す

副會長

當選 784票 吉田徳次郎君

- |             |          |
|-------------|----------|
| 次點 3票 鈴木雅次君 | 3票 田中豊君  |
| 3票 宮本武之輔君   | 2票 安藝杏一君 |
| 2票 石井頼一郎君   | 以下略す     |

常議員（改選）

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 當選 770票 稻葉權兵衛君 | 同 769票 富永正義君  |
| 同 766票 井關正雄君   | 同 765票 大岡禮三君  |
| 同 765票 金子衞君    | 同 765票 廣瀬孝六郎君 |
| 同 759票 水谷當起君   | 同 757票 青山秀雄君  |
| 同 748票 藤井松太郎君  | 同 745票 目黒雄平君  |
| 次點 17票 倉田玄二君   | 11票 成瀬勝武君     |
| 10票 青木楠男君      | 7票 岩澤忠恭君      |
| 7票 吉田徳次郎君      | 6票 瀧山與君       |
| 6票 岩城富久君       | 5票 坂元左馬太君     |
| 5票 徳善義光君       | 5票 柳生義郎君      |
| 5票 小林紫朗君       | 以下略す          |

常議員（補缺）

- |               |          |
|---------------|----------|
| 當選 741票 倉田玄二君 |          |
| 次點 9票 目黒雄平君   | 2票 山田博愛君 |
- 以下略す

4. 土木學會定款改正に關する件を上程し全會一致次の如く可決せり。

第18條第5項

「4. 常議員 24名」

第32條 「常議員會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ常議員 8名以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シ請求アリタルトキ之ヲ開ク」

第41條 昭和15年ノ通常總會ニ於テ決議シタル定款變更ニ基キ増員セラルベキ常議員 4名ノ選舉ハ昭和16年役員改選ト同時ニ之ヲ施行スルモノトス

第42條 昭和15年ノ通常總會ニ於テ決議シタル定款變更ニ基キ選舉セラレタル 4名ノ常議員中抽籤ヲ以テ定メタル 2名ノ任期ヲ昭和17年ノ通常總會迄トス

5. 特定期間中入會金免除の件を上程し全會一致次の如く可決せり。

「昭和15年1月1日ヨリ昭和15年12月31日迄ニ新ニ入會ヲ承認セラレタル會員、准員、學生員ニ對シ土木學會規則ノ規定ニ拘ラズ特ニ入會金ノ納付ヲ免除スルコトヲ得ルモノトス」

以上を以つて議事を了し、引續き下記優秀論文の著者に對し昭和14年度土木賞牌の贈呈を行ふ。

一土壓公式と其の圖式解法（土木學會誌第25卷第5號所載） 會員 工學博士 安藏善之輔君  
底面激變個所に於ける流體運動（土木學會誌第25卷第12號所載） 會員 工學士 大坪喜久太郎君  
次で八田會長の講演（別項）あり午後6時40分閉會せり。

會長講演終了後有志晚餐會を開催し出席者59名にして午後9時散會せり（別項記事参照）。

## 役員會

第22回理事會（昭15.1.22）

出席者：堀越副會長，山崎，高橋，和田各理事，中村書記長，小野寺庶務主任，朝倉會計主任，米川編輯主任

議事

1. 內務省防空研究所へ土木學會誌を第26卷第1號より寄贈することとせり。
2. コンクリート調査委員會委員に次の諸君を追加

依囑することとせり。

藤井松太郎君 淺井政治君 上田秀正君  
龍野繁太郎君 布施忠司君 福島彌六君

3. 鐵筋コンクリート標準示方書昭和 15 年改訂版を印刷頒布することとせり。

4. 會員中島武君より申出の本會制定の鐵筋コンクリート標準示方書を同君著書中へ轉載することは承認することとせり。

5. セメント増産並に配給の圓滑對策に關し 2 月 1 日協議會を開催することとせり。

6. 25 周年記念事業終了に當り關係委員の招待會を 1 月 31 日開催することとせり。

7. 昭和 14 年度事業報告及決算報告を別紙(省略)の通り承認せり。

#### 8. 入退會の件

京城土木建築業協會を特別員に、安倉安範君外 11 名を會員に、池上善次君外 30 名を准員に、青木美寛君外 19 名を學生員に入會を承認し、准員遠藤又吾君外 2 名を會員に、學生員赤倉榮一君外 1 名を准員に轉格を承認せり。

9. 静岡市大火災に就き本會より見舞を兼ね災害調査員を派遣することとせり。

以上議事終了後、和田理事より日本工學會臨時社員總會の議事(定款改正)並に印刷紙の統制に關する建議其他の協議事項を報告ありたり。

#### 第 23 回理事會 (昭. 15. 2. 5)

出席者: 堀越, 谷口兩副會長, 山崎, 高橋, 和田, 稻葉各理事, 中村書記長, 小野寺庶務主任, 朝倉會計主任, 糸川編輯主任

#### 報 告

1. 關西支部總會議事を報告せり。
2. 同 支部役員改選の結果次の通り當選せり。

支部長 平野正雄君

商議員	山口十一郎君	商議員	原口忠次郎君
同	柳田癸巳夫君	同	小林 勇君
同	下間 伸 都君	同	辻井富之助君
同	員 原 榮君	同	山本與一郎君

3. 西部支部役員會議事を報告せり。
4. 中部支部役員會議事を報告せり。
5. 東北支部役員會議事を報告せり。
6. 同 支部役員改選の結果次の通り當選せり。

商議員新任 結城朝恭君 同 三島卯四郎君

再任 飯島馨之助君 同 叶 磯君

同 近藤信一君 同 佐々木 銑君

幹事長新任 内田 泰 郎君

7. 日本工學會より 16 學協會名を以て用紙使用制限緩和方を商工大臣に陳情せり。

#### 議 事

1. 中部支部昭和 14 年度決算報告を承認することとせり。
- 2 東北支部昭和 14 年度決算報告を承認することとせり。
3. 北海道支部昭和 14 年度決算報告を承認することとせり。
4. 西部支部昭和 14 年度決算報告を承認することとせり。
5. 東北支部内規第 1 條の商議員 13 名を 15 名と變更の件は承認することとせり。
6. 關西支部長改選の結果平野正雄君當選せられたるに就き依囑することとせり。
7. 第 4 回日本工學會大會土木部會講演集は發行せず會誌に豫算價の範圍にて數ヶ月に分割登載することとせり。
8. 構造士法案を今議會に提出の可否に就ては眞島委員長と協議することとせり。

#### 第 11 回常議員會 (昭. 15. 1. 23)

出席者: 堀越副會長, 山崎, 高橋(兼), 和田, 伊藤, 鈴木(長), 高橋(三), 瀧尾, 百武, 松田, 松本各常議員, 中村書記長, 小野寺庶務主任, 朝倉會計主任, 糸川編輯主任

#### 報 告

1. 内務省防空研究所へ土木學會誌を寄贈することとせり。
2. コンクリート調査委員會委員を(理事會議事参照)追加依囑せり。
3. 記念事業資金調達の結果(別表省略)を報告せり。
4. 鐵筋コンクリート標準示方書改訂案の調書終了を報告せり。
5. 入退會を別紙(省略)の通り承認せり。

#### 議 事

1. 關西支部昭和 14 年度事業及決算報告を別紙(省略)の通り承認せり。
2. 本部昭和 14 年度事業及決算報告を別紙(省略)の通り承認せり。

3. 昭和 14 年度土木賞牌を贈呈すべき優秀論文は次の通り決定せり。

會員 安藏善之輔君著 土木學會誌第 25 卷第 5 號所載「一土壓公式と其の圖式解法」

會員 大坪喜久太郎君著 土木學會誌第 25 卷第 12 號所載「底面激變個所に於ける洗體運動」

4. 常議員増加並に之に伴ふ定款の変更を別紙(省略第 21 回理事會議事の通り)の通り通常總會に提案することとせり。

5. 特定期間中入金會金免除の件を別紙(省略第 21 回理事會議事の通り)の通り通常總會に提案することとせり。

6. 通常總會を別紙(省略第 21 回理事會議事の通り)の通り開催することとせり。

7. 役員選挙投票の開票に當り立會役員を次の通り決定せり。

堀越副會長、和田、山崎、瀧尾、鈴木各常議員

8. 昭和 15 年度支部交附金を別表(省略)の通り決定せり。

### 總 務 部 記 事

外人功績調査委員會 (昭 15. 2. 8)

出席者: 那波委員長、眞田副委員長、榎木、久保田、中川、丹羽、名井各委員、瀧田、山崎兩幹事、江澤囑託、中村書記長、小野寺庶務主任

1. 外務省文化事業部より補助を申受くることに就て交渉した結果を山崎幹事から報告せり。

2. 調査を完了した「ブレーキ」外 67 人の略歴を「プリント」とし出席委員に配布せり而して次回委員會までに略歴内容に對する意見を持寄ることとせり。

3. 作製に當り次の順序に依り印刷することとせり。

目次は「アルファベット」本文は部門別年代順(來朝)とすること。

4. 調査完了した原稿は謄寫印刷の上各委員に配布し一應意見を求むることとせり。

5. 氏名の日本假名に就ては慎重に調査することとせり。

6. 本書は徵約募集をせず寄贈及保存用として 500 部位を作製することとせり。

晚餐會 (昭 15. 1. 31)

本會創立 25 周年記念事業の終了に當り關係各種委員會委員を虎の門晚翠軒に招待し慰勞晚餐會を開く、

席上八田會長の挨拶あり、出席者次の如し。

出席者: 阿曾沼 均君 安藝 皎一君 青山 士君  
伊藤 信君 伊藤 剛君 衣斐 清香君  
大石 勇君 金子源一郎君 金森 誠之君  
草間 偉君 黒澤喜代治君 鈴木 雅次君  
高橋 甚也君 廣瀬孝六郎君 藤井 眞透君  
藤野 義男君 松村 孫治君 宮本武之輔君  
安宅 勝君 吉田徳次郎君 吉田 直君  
八田 會長 堀越 副會長 山崎、高橋、  
和田 各理事 中村書記長 小野寺庶務主任  
志村囑託

協議會 (昭 15. 2. 1)

セメントの増産並に配給の圓滑に關する協議會を丸之内會館に於て開催し、山崎理事より協議會開催の主旨並に希望を述べ、次で座長に吉田徳次郎君を推し議事に移り、セメント製産量、燃料原料の供給、セメント統制、各種工事の需給關係等に就き各君より實狀を披瀝して意見の交換を行ひたる結果不取敢セメント増産並に配給の圓滑に關する意見書を商工大臣及企畫院總裁等に提出することとして散會せり。

出席者: 山崎、和田、稻葉各理事、吉田徳次郎君、松村孫治君、吉田朝次郎君、目黒清雄君、畑中善造君、島田勝實君、中村書記長、小野寺庶務主任

静岡市大火視察報告會 (昭 15. 2. 7)

昭和 15 年 1 月 15 日静岡市に起りたる稀有の大火見舞及視察のため本會代表として出張せられたる諸君より役員會への報告會を帝國鐵道協會に於て開催し、和田君より大火見舞に關し、春藤君より火元、大火の原因災害狀況、復興計畫等に就て、佐藤君より鐵道の災害及將來の施設に就て、杉戸君より地下水及上水道に就て夫々報告ありたり。

出席者: 和田重辰君、春藤眞三君、佐藤慶次君、杉戸清君、山崎、稻葉兩理事、鈴木常議員、名井、那波、眞田各前會長、小野寺庶務主任、

### 編 輯 部 記 事

第 2 回會誌編輯委員會 (昭 15. 2. 7)

出席者: 廣瀬委員長、安藝、大石、黒澤、佐藤、本間、松村、安宅各委員、糸川、志村編輯囑託

協議事項

1. 第 26 卷第 2 號所載原稿謝禮を決定せり。

2. 第 26 卷第 3 號登載記事を次の如く決定せり。

#### 論説報告

鉄筋コンクリート標準示方書改正に就いて、(土木學會コンクリート調査委員會) 隧道内のコンクリート道床の設計に就て (會, 工博, 山崎匡輔), 不完全弾性構造用材よりなる抗壓材の安定 (會, 結城朝恭)

#### 彙報

大阪の地盤沈下に就て (會, 工博, 岡部三郎)  
凍土の耐荷力 (會, 原田千三)

3. 第 26 卷第 4 號登載原稿を下記の通り決定す。

#### 論説報告

微分方程式による多張間高層ラーメンの振動解法並にその固有振動周期の實用算定公式 (會, 酒井忠明)。

#### 彙報

獨逸國有鐵道建設及運轉規定 (鐵道省建設局)

#### 抄録

地盤の壓力分布, 流體の瞬間壓力の記録装置, 渦流の統計的理論と水理學の關係, 跳水現象に就て, コンクリートのクリープに依り吊桁及繫拱に於ける水平引張力變化に及ぼす藥材歪並に 壓線弦剛性の影響に就て, 二方向に偏心荷重を受けたる鉄筋コンクリート矩形断面に就て, 沼澤地埋立により建設される航空港, 不安定なる地盤上の基礎に對する一提案, 橋脚基礎に利用した鋼製圓筒管, 沈澱池模型實驗, 人孔と接合室, Azoren 群島の防波突堤, 鋪裝アスファルト乳劑の特色及性質 (I), 瀝青鋪裝及小鋪石鋪裝の爲のコンクリート基盤, 道路建設の將來, 二次常微分方程式積分器,

### 調査部記事

#### コンクリート調査委員會 (昭. 15. 1. 13)

出席者: 吉田委員長, 安藝, 一木, 板倉, 内山, 金子, 坂元, 徳善, 沼田, 松村, 吉田 (朝) 各委員  
磯崎傳作君

1. 鉄筋コンクリート標準示方書改正案に對する東京市, 内務省, 鐵道省の意見に就き審議を行ふ。
2. 本日を以て鉄筋コンクリート標準示方書改正に關する委員會を終了せり。
3. 改正したる示方書全文は會誌 3 月號に登載の豫定なり。

#### コンクリート調査委員會

##### 第 3 回堰堤コンクリート小委員會 (昭. 15. 1. 11)

出席者: 吉田 (徳), 内村, 大石, 新井, 一木, 黒澤, 畠山, 松岡, 水越, 吉田 (赴), 伊藤, 杉戸, 山岡, (三島), (宮崎)

#### 協議事項

1. 第 2 章及第 3 章を協議の結果第 3 章に關しては名案を作成し次回に持寄ること。
2. 福島彌六君を委員に追加すること。
3. 次回は 1 月 16 日 (火) 午後 5 時半より開催のこと。

#### コンクリート調査委員會

##### 第 4 回堰堤コンクリート委員會 (昭 15. 1. 16)

出席者: 吉田委員長, 内村, 大石, 黒澤, 畠山, 一木, 佐藤, 近藤, 吉田, 山岡, 杉戸, 松岡, 福島各委員, 三島勇君, 宮崎茂一君

#### 協議事項

1. 第二章定義並に第三章コンクリートの品質に就き協議す。
2. 目黒幹事は當分缺席せらる爲め留居中は山岡君に幹事を依頼することとせり。
3. 三島勇, 宮崎茂一兩君を委員に推薦する事とせり。
4. 次回は 1 月 30 日午後 5.30 より開催する事とせり。

#### コンクリート調査委員會

##### 第 5 回堰堤コンクリート小委員會 (昭. 15. 1. 30)

出席者: 吉田 (徳), 内村, 大石, 黒澤, 一木, 佐藤, 水越, 近藤, 宮川, 吉田 (赴), 新井, 高田, 杉戸, 松岡, 宮崎

#### 協議事項

1. 第 5 條單位容積重量より第 19 條骨材の貯藏まで逐條審議せり。
2. 柱狀施工法, 層狀施工法の術語に就ては次回迄保留せり。
3. 第 14 條粒度 保留
4. セメント保留
5. 次回は 2 月 6 日 (火) とす。

#### コンクリート調査委員會

##### 一般構造物コンクリート小委員會 (昭. 15. 1. 15)

出席者: 内山, 吉田 (朝), 一木各専門委員, 小倉宏三君 (土井委員代理), 磯崎傳作君

1. 昨年中に作成せる無筋コンクリート標準示方書第 1 部一般構造物第 1 讀會案に基き, 本日より第 2 讀會に入る。

2. 第2讀會を1日中に終了し、之を原案としてコンクリート調査委員会に諮る豫定なり。

### 關西支部記事

#### 第1回役員會 (昭. 15. 1. 16)

出席者: 福留支部長, 石原, 岩井, 河原, 鈴木(角), 鈴木(義), 西, 林, 三好各商議員, 大島幹事長, 稻浦, 堀, 村上各幹事, 岩田, 後藤, 島, 島崎各前支部長

#### 議 事

1. 昭和 14 年度收支決算の件。
2. 昭和 14 年度事業報告の件。
3. 總會に關する件。 4. 2 月座談會に關する件。
5. 靜岡市大火調査の件。

#### 第13回總會 (昭. 15. 1. 26)

出席者: 100 名

會 場: 中央電氣俱樂部

順 序: 1. 支部長挨拶, 2. 會計報告, 3. 事務及事業報告, 4. 土木事業調査委員會報告, 5. 役員選舉(當選者後記), 6. 講演, 7. 懇談會

#### 役員選舉の結果

支部長 當選 平野正雄君

商議員 當選 山口十一郎君

柳田癸巳夫君

下間仲都君

貝塚榮君

原口忠次郎君

小林勇君

辻井富之助君

山本與一郎君

### 東北支部記事

#### 視察見學會福島部會 (昭. 14. 10. 19)

参加人員: 20 名

見學場所: 東京電燈秋元發電所工事並に裏磐梯一帯。

#### 座談會岩手部會 (昭. 14. 10. 21)

會 場: 盛岡市秀清閣

#### 講演會宮城部會 (昭. 14. 11. 18)

出席者: 70 名

會 場: 東北帝大金屬材料研究所

#### 演題及講師

本所に於ける研究の成績

所長理學博士 村上武次郎君

鋼の電氣熔接に就て 工學博士 關口春次郎君  
液體空氣の話と實驗 理學博士 青山新一君  
講演會青森部會 (昭. 14. 12. 9)

出席者: 90 名

會 場: 青森市商工會議所

#### 演題及講師

土木と日本精神 工學博士 金森誠之君

支那事變と帝國海軍 海軍大佐 井原美岐雄君

面に就て 工學博士 鶴見一之君

山形縣地方土木關係紀要編纂頒布。

山形地方土木功勞者並に主として地方特異の土木工事紀要を編纂し頒布せり。

#### 支部長改選

鶴見一之君任期滿了に付改選の結果金森誠之君支部長に當選せり。

#### 第12回役員會 (昭. 15. 1. 23)

出席者: 金森支部長, 鶴見前支部長, 飯島, 上山, 叶, 近藤, 後藤(代), 佐々木(代), 薄田, 結城, 三島各商議員, 内田幹事長, 中津海, 門澤兩幹事, 菊田主事

#### 議 事

1. 昭和 14 年度收支決算(別紙省略)承認
2. 商議員増員の件 3. 本年度事業の件
4. 地方土木事業の指導誘致徹底方の件

### 中部支部記事

#### 第1回役員會 (昭. 15. 1. 24)

出席者: 田淵支部長, 北澤前支部長, 上井, 城戸, 千田, 花井, 安部, 平川, 中, 中村, 大島, 石川, 杉山各評議員, 比企野幹事長, 今泉, 松本, 小山, 伊吹各幹事

#### 報 告

1. 25 周年記念事業資金募集の結果

#### 議 事

1. 北澤前支部長へ記念品贈呈の件
2. 昭和 14 年度收支決算承認
3. 25 周年記念事業資金募集に對する交付金各部會分配の件
4. 記念號廣告主及贊助者に對する謝意表示の件
5. 昭和 15 年度事業計畫の件
6. 調査會設置に關する件

## 西部支部記事

### 第1 回役員會 (昭. 15. 1. 27)

出席者：西田支部長、釘宮、小早川、寺田、三瀬、三原、吉田各商議員、土肥前商議員、安藏幹事長、大野、岡部兩幹事、東岩主事

### 議 事

1. 昭昭 14 年度事業及決算報告
2. 昭和 15 年度豫算及事業計畫の件

## 日本工學會記事

昭和 15 年 1 月 18 日、日本工學會社員臨時總會を開き下記事項を決議せり。

1. 社團法人日本金屬學會の日本工學會社員たることを承認
  2. 日本工學會定款及規則の各一部變更(別紙省略)
  3. 日本工學會役員選出に關する覺書(別紙省略)
- 以上の外特別決議として定時總會の開催期日、改正定款の字句、次回役員選舉の件等を懇談事項として各學會機關雜誌用紙制限緩和方に關する陳情の件を決定せり。

昭和 15 年 1 月日本工學會及社員 16 學會の名を以て用紙使用制限緩和方に關する陳情書を商工大臣に提出せり。

昭和 15 年 1 月 30 日、日本工學會評議員會を開催し一般會務の報告あり次で下記事項を決議せり。

1. 昭和 15 年度收支豫算(別紙省略)の件
2. 古市男資金利子經常費繰入の件
3. 日本工學會資金勘定中に特別準備金勘定を設くる件
4. メートル法委員會解散の件

## 通常總會有志晩餐會

通常總會の終了に續いて、恒例の有志晩餐會を鐵道協會大食堂に於て開催、今回退任された八田會長、堀越副會長、留任の谷口副會長並に新任の中村會長、吉田副會長を始めとし、會員有志を合はせ 59 名の出席者を得て、極めて盛會裡に其の幕を開いた。

先づ谷口副會長起つて、留任側を代表して、會員の出席を謝して後、茲に退任された八田前會長の在任中の功績として、本會 35 周年記念事業の数々を挙げ、

其の盡力を深謝し、次に堀越前副會長並に各役員諸氏に對する謝辭と新任せられた中村會長その他の各位に對する祝辭があつた。

續いて八田前會長は谷口副會長の謝辭に對する答辭として、在任中の役員諸氏の援助を謝し、次いで會長、副會長、役員新任者の就任に對して歓迎の言葉を述べられ、今後の本會の事業に對する註文と、會員の活躍を希望して着席された。

次に堀越副會長は在任中の各位の援助を謝し、學會が土木界の中心となつて非常時局のため盡すべき旨を強調された。

中村新會長は就任の挨拶として、前任者の希望に添ふべく努力すると述べらる。

之より谷口副會長の指名によりテーブル・スピーチに入り、其の第一を承はつたのは同副會長の高等學校以來の同輩たる池邊稻生氏で、同氏は指名を受けたのに對する、頗るユーモラスな感想を語られ、八田前會長の總會に於ける講演を讚美し、次いで交通問題の重要性を力説された。

次に田淵壽郎氏が名古屋地方に於ける、セメント並に石炭配給問題及電力統制問題とそれに関する矛盾を指摘された後、「セメントの 1 年戦死」の假定のもとにその效果に就て論じられた。

指名の最後は安藏善之輔氏で、土木賞牌受賞に對する謝辭があつて後、會員の先輩諸氏が、座談會等で貴重な經驗談を發表され、後輩を指導されん事を希望して着席さる。

之より自由談話に入り、久保田敬一男が土木賞牌の今後の受賞者は賞牌授受の場所、論文完成迄の経過とその苦心談等を、語られ度き旨を希望される。新井榮吉氏は、恰度 1 年振りに學會の會合に出席された感想を述べられ、次に華北交通の平井喜久松氏(谷口副會長指名)は大陸建設事業經營の困難に就て語り、最後に宮長平作氏起つて、第 4 回工學會大會の案内狀を受け取られた感想として、同氏が嘗つて、昭和 11 年の第 3 回工學會大會の際、「土木學會は、此の次の紀元 2600 年に當る第 4 回工學會大會の年には會員數 1 萬名を超えるは必須である」と述べられたのが、見事適申した事を喜ばれると同時に、斯くまでされた役員各位の盡力に對する感謝と、向後の努力を熱望されて着席された。

斯くして意義ある有志晩餐會は、午後 9 時その幕を閉じた。

晚餐會出席者 (アイウエオ順)

安藏善之輔君 新井榮吉君 井上二郎君  
 井上秀二君 井關正雄君 内田壯一君  
 池邊稻生君 磯海國吉君 稻葉權兵衛君  
 稻葉通彦君 岩崎瑩吉君 遠藤亮徹君  
 大岡禮三君 大河戸宗治君 大木利彦君  
 大竹邦平君 大坪喜久太郎君 加藤米藏君  
 笈 斌 治君 金子源一郎君 金子 柁君  
 北澤淳夫君 久保 讓君 久保田敬一君  
 草間 偉君 古藤猛哉君 眞田秀吉君  
 春藤眞三君 鈴木長治君 田淵壽郎君  
 田村興吉君 高橋嘉一郎君 瀧 山 與君  
 谷口三郎君 遠武勇熊君 中川吉造君

中村謙一君 永井松次郎君 西尾辰吉君  
 西岡宏治君 八田嘉明君 原 全 路君  
 平井喜久松君 廣瀬孝六郎君 百武定一君  
 藤井眞透君 藤井松太郎君 堀越清六君  
 牧野雅樂之丞君 宮長平作君 椋本修造君  
 名井九介君 安宅 勝君 山崎匡輔君  
 山本新次郎君 横山 喬君 吉田徳次郎君  
 米元晋一君 和田重辰君

そ の 他 記 事

昭和 15 年 2 月 1 日土木學會誌第 26 卷第 2 號を發行成規の手續を了し、全會員に配布せり。

入 會 及 轉 格 會 員

特 別 員 (入 會)

社團法人京城土木建築業協會 伊達四雄君 1 級

會 員 (入 會)

安倉安範君 大阪保線事務所  
 浦上悦治君 鐵道省岐阜工務事務所  
 小河太郎君 同 東京第一工務事務所  
 加藤正人君 水戸保線事務所

澁谷順作君 鐵道省東京第一工務事務所  
 藤井吉明君 大場榮盛土木事務所  
 三島三平君 東京電燈會社  
 湯 淺 毅君 越前電氣會社

大友榮三郎君 仙鐵工務部改良課  
 兼岩傳一君 三重縣土木部都市計畫課  
 永田達彌君 同 河港課  
 本田吉丸君 仙鐵一關保線區

准 員 (入 會)

池上善次君 滿洲交通部營口土木工程處  
 大井川吉司君 福島縣原町土木監督所  
 加賀時太郎君 福井縣大野土木出張所  
 角田正清君 日本發達電氣會社  
 木村成久君 大阪鐵道局工務部保線課  
 菊地忠雄君 福島電燈會社  
 佐藤廣四君 札幌鐵道局工務部改良課  
 清水文太君 日本石綿鑛製會社  
 下原 勝君 東京電燈會社  
 島田華市君 滿洲交通部營口土木工程處  
 白出留吉君 日本拓業會社

須藤清藏君 福島縣總土木部  
 橘 覺 治君 日本パルプ工業會社  
 富尾木六三郎君 滿鐵大連埠頭事務所  
 中村政道君 滿洲交通部航空司調査科  
 永山政徳君 沖繩縣總土木課  
 拔井義貞君 福島縣總土木部  
 野原徳三郎君 球摩川電氣會社  
 箸尾谷光太郎君  
 花澤壽男君 東京電燈會社  
 林谷仁平君 福島縣當岡土木監督所  
 福本正三君 東京電燈會社

前原一男君 滿鐵々道技術研究所  
 増子正男君 福島電燈會社  
 松本一郎君 〃  
 宮島嘉作君 郡島工業學校  
 宮本主税君 臺灣電力會社  
 森 徳 夫君 電氣廳第二部水力課  
 山田豊次君 石川縣大野川改修事務所  
 和田常雄君 日惠鐵業會社  
 佐々木省平君 内務省阿賀川改修事務所

學 生 員 (入 會)

青木美寛君 東京帝大  
 青柳正一君 〃  
 井部勇一君 〃  
 尹 順 徳君 立命館日滿高工

岡本孝平君 東京帝大  
 鹿島健次君 〃  
 神林逸男君 〃  
 河口秀夫君 興亞工學院

北 島 齋君 東京帝大  
 小林元椽君 〃  
 齋藤萬龜男君 仙臺高工  
 齋藤正彦君 京都帝大

常 忠 賢君 京都帝大  
 中 橋 宏君 仙臺高工  
 中 谷 強君 東京帝大農土

長 山 泰 介君 東京帝大  
 森 山 實君     "     "  
 吉 川 五 生君     "     "

李 相 根君 日大高工  
 古 野 喜 八君 仙臺高工

會 員 (轉 格)

遠 藤 又 吾君 大阪市土木部橋梁課

齊 藤 卯 之 吉君 鐵道省工務局土木課

橋 善 雄君 大阪市土木部橋梁課

准 員 (轉 格)

赤 倉 榮 一君 富山縣廳土木部河港課

加 藤 行 雄君 朝鮮鐵道局改良課

土 木 學 會 々 員 數

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
3360	4376	1353	91	28	9208

會員 磯村利水君, 原田春三君, 奥西友郎君, 白井靖直君, 新谷昂吉君, 今井好平君の  
 訃報に接す。本會は恭しく哀悼の意を表す

准員 前澤 武君の訃報に接す, 本會は恭しく哀悼の意を表す

賛助員 谷口徳政君の訃報に接す, 本會は恭しく哀悼の意を表す



止 映 止 表  
底 面 激 變 個 所 に 於 け る 流 體 運 動  
(第 25 卷 第 12 號 所 載)

頁 目	行 目	説 明	証 明	頁 目	行 目	誤 差	正 誤
3	2	10 cm	25 cm	28	終 7	$\sqrt{60} \bar{d}_0$	$60\sqrt{\bar{d}_0}$
6	終 3	$l$	$l_1$	31	" 1	$\text{arc tgh } x \frac{S^2}{d_1 d_0 x}$	$\text{arc tgh} \left( \frac{S^2}{d_1 d_0 x} \right)$
"	" 2	$l$	粗度が大なる程 $l_1$	32	7	$\zeta = \dots$	$\zeta = \dots, \dots, \dots (29')$
8	圖-13	流速曲線 (表-14 参照)	流速曲線 (15°) (表-10 参照)	"	18	$d_0/S = \dots, \dots (28)$	$d_0/S = \dots, \dots (28'')$
"	"			"	21	$Y = \frac{C_0}{\sqrt{g d_0}} = 1$	$Y = \frac{d_0^2}{S}$
9	18	(9 参照)	(111 参照)	"	終 7	I-i	II-ii
"	終 10	$C_0 = \dots, \dots (6')$	$C_0 = \dots (単位 cm) \dots (6')$	33	7	$\zeta = 3.266 - 2.312 (\dots)$	$\zeta = 3.266 - 2.312 (\dots)$
10	" 4	$\zeta = 0.005 \frac{q}{S}$	$\zeta = -0.005 \frac{q}{S}$	"	15	$\zeta = \dots - 2.38 (d_1/S)^{0.417} \dots (28)$	$\zeta = \dots - 2.088 (d_1/S)^{0.417} \dots (33)$
11	終 11~7	[外力は 0~0 断面に………茲には考へない]を削除し右記の文章を加ふ。	水平分力中には 0~0 及 2~2 断面に働いて居る静水圧、流體の發働面に於ける摩摺力、底面に働いて居る水壓の水平分力其他が含まれるであらう。此の場合最後の二者は第一のものに比し、之を無視しては差支へない位小である故茲では後の二者を考慮外におく。	"	表-13 中の (7)	(28) 式から	(33)
12	終 5	$\Delta J = d_2 \frac{C_0^2}{g} d_0 \dots$	$\Delta J = \alpha_2 \frac{C_0^2}{g} l_2 \dots$	35	4	表-14	表-14 及 15
"	" 3	$\dots = \alpha_2 \frac{C_0^2}{g} d_2 - d_0 \frac{C_0^2}{g} d_0$	$\dots = \alpha_2 \frac{C_0^2}{g} d_2 - \alpha_0 \frac{C_0^2}{g} d_0$	"	"	表-14 (1) 全部削除	
13	" 3	$i_2 < i_{cr}$ であれど	下流水路の粗度, $i_2, g, S$ 等に依つて	36	1	表-14 (2)	表-14
14	圖-20 表の中	$d_1, 2 = \dots$ $d_2 = 56 \text{ cm}$ $\frac{P}{B} = \dots$ $MT^{-2} = \dots$	$d_1, 2 = \dots$ $d_2 = 5.6 \text{ cm}$ $\frac{P}{B} = \dots, \dots (9')$ $MT^{-2} = \dots, \dots (9'')$	39	7	$d_p - (d_0 + \rho)$	$d_p - (l_0 + S)$
17	14	$d_1 = S$	$d_1 < S$	"	"	[ $\zeta_{or} =$ ] 削除	"
18	3	$C_0 = 60 d_0^{0.5}$	$C_0 = 60 d_0^{0.5}$	40	2	$d_p - (l_0 + \rho)$	$d_p - (l_0 + S)$
21	14		36.00	41	"	下流, 上流	上流, 下流
24	摘要中段			42	11	$\xi_1^4 + 0.95124 \xi_1^2 - 1.2988 \xi_1^2 + \dots$	$\xi_1^4 + 0.95124 \xi_1^2 - 1.2988 \xi_1^2 + \dots$
28	9			44	終 3	壓力	力
				"	4	ton/m <sup>2</sup>	tons
				"	6	"	"
				"	7	"	"
				"	"	壓力	力
				46	終 2	$\xi_1^4 + 8 \xi_1^2 + \dots$	$\xi_1^4 + 2 \alpha_0 \xi_1^2 + \dots$
				47	" 2	[「内で」を削除	流速を興へて
				"	21	流體を興へて	多くは
				"	"	多くに	
				49	"	圖-35 右上圓轉倒	